

アプリ

応用問題3

今まで学習してきたことを組み合わせてプログラムを完成させる。

変数が非常に重要となる。最初の「(変数) を 0 にする」を絶対に忘れないようにする。
解だった場合には数値

◆ 解答例

```
正解数 ← を 0 にする
第一問、都道府県のは合計でいくつある? と聞いて待つ
もし 答え = 47 なら
  正解! と 2 秒言う
  正解数 ← を 1 ずつ変える
でなければ
  不正解! と 2 秒言う
第二問、日本の県の数は? と聞いて待つ
もし 答え = 43 なら
  正解! と 2 秒言う
  正解数 ← を 1 ずつ変える
でなければ
  不正解! と 2 秒言う
もし 正解数 = 2 なら
  全問正解! すばい! と 2 秒言う
もし 正解数 = 1 なら
  1問正解! おしい! と 2 秒言う
もし 正解数 = 0 なら
  全問不正解、頑張ろう! と 2 秒言う
```

[前のページへ](#)

「応用問題3」

◆ 解説

今回の問題は、条件を満たした場合のみに変数を足していき、最終的な変数の値によって最後に表示する言葉を変えています。度々使用している ☐ と聞いて待つ と 答え の組み合わせを使うのですが、今回は間違えた場合の処理を定義しているのが特徴です。もしも答えが正解ならば「正解!」と言うことに加え、変数「正解数」を1ずつ変えていきます。答えが定義された数以外（＝不正解）ならば変数「正解数」は変わりません。2問目終了後、カウントされた「正解数」の値と ☐ なら を使用することで変数「正解数」に応じて問題数の正解数に応じて表示する ☐ と 2 秒言う をそれぞれ設定します。

[次のページへ](#)

[スクラッチファイルをダウンロード](#)

閉じる